

住民説明会質問（第二次国土利用計画（佐久市計画））

| | |
|--|--|
| <p>1 野沢地域について、ぴんころ地蔵等の記述がありますが、子供についてのものはありません。 野沢地域は女性が元気であることや、様々な施設が充実していること、野沢小学校で全国一位の文化的な活動をしていることなどから子育てに必要なものは揃っています。後は知恵を絞り文化を作っていく、人を呼ぶことが計画には必要です。 また、もっと具体的な計画や理念を出して行く必要があります。 また、計画のためのディスカッションを毎月行っていくことが必要です。</p> | <p>国際化の進展、ハード・ソフトの問題、高齢化などの状況がありますが、地域の特徴を生かしながら生き残る地方創生に向け、引き続きご意見をいただきたいと思います。 また参考にさせていただきます。</p> |
| <p>2 人口増加につながる土地利用とありますが、人口増加につながるには若い人の呼び戻しが必要です。 このため、工業のための土地利用が必要と思われるが、文章中に出てきません。 佐久市の工業発展のための土地利用はどのように考えているのでしょうか。</p> | <p>土地利用についての計画であるため、直接工業の発展について表現し難いところがありますが、土地利用の大きな方針の項目で産業振興の推進について入れています。 農業で人口が増えている地区もある中で、産業振興に関しては工業だけでなく地区ごとの特徴を使いながら、発展させていきたいと考えています。また、新たな企業誘致や工業団地の整備を手掛けていきたいと考えています。 また、地域の強みとしての健康長寿を街づくりや産業に生かす取り組みを始めているところであり、産業振興の中では医療福祉について述べています。 土地の機能についてのゾーニングの項目でも触れており、都市機能の拠点となる佐久平地域では新たな商業的土地利用を進めるとしている他、中込地域の工業専用地域や臼田のインターチェンジ周辺での産業振興を説明しています。</p> |
| <p>3 農業振興について、農産品のブランド化の記述がありますが、現在あるもの以外に何についてブランド化をしようとしているのでしょうか。 佐久ではプルーンの栽培や、外国野菜の研究などについて力を入れてほしいと思います。</p> | <p>佐久ブランドの発信の中で果樹や野菜の栽培について、団地化、集約化について述べていますが、プルーン、リンゴ、酒米など様々な面において進めていきたいと考えています。</p> |
| <p>4 各地域の特徴について触れていますが、バランスの取れた発展を市民が共有できるような地域の特色を出してほしいと思います。</p> | <p>平成17年の合併後地域のバランスを図りながら、特徴を生かした発展を目指してきました。今後はこの特徴を公共交通等で結ぶネットワーク化を図っていきたいと考えています。</p> |